

かわきた

春の絶景、今ここに



川北町議会事務局

検索

- 3月議会定例会…………… P 2
- 注目事業ピックアップ …… P 4
- 町政を問う…………… P 6
- 商工会との意見交換会… P 10

3月議会

令和8年第2回(3月)
議会定例会
3月3日~17日(15日間)

提出議案等は24件

すべて原案通り全員賛成
で可決しました。

この中から主なものを
ピックアップして紹介
します。

専決処分の報告

○2月8日に執行された衆議院議員
総選挙費650万円を専決

インフラ環境整備

○町道等整備工事 2400万円

朝日〜橋新間道路拡幅事業

1400万円

現在施工中の区間を約70m延伸するもの
※工事費1400万円のうち、国庫補助と
して50%(700万円)を充当。

温泉通り2号線
道路照明のLED化工事

1000万円

川北町役場前の道路照明(8基)をLED
へ交換

※工事費1000万円のうち、国庫補助と
して50%(500万円)を充当。

観光・交流拠点の魅力向上対策

○桜つつみの賑わい創出事業 139万円

観光・交流拠点の魅力向上事業
桜つつみにウッドデッキを設置。(8箇所)



ウッドデッキで花見を楽しむ



冬期間の交通確保のための経費

○除排雪費 2470万円

除雪機購入補助の申請実績と今後の見通しは?

▲今年度(令和7年度)の実績はありませんが、
2件の問い合わせ状況から来年度(令和8年度)
の申請を見込み予算計上しています。

□補助の対象に「NPO法人」などは含まれる
のか?

▲現在の制度は、地区(町内会等)が購入する
際の補助を想定しているため、個人やNPO
法人は対象外となっています。



除雪機

簡易水道事業

○簡易水道施設改修工事

365万円

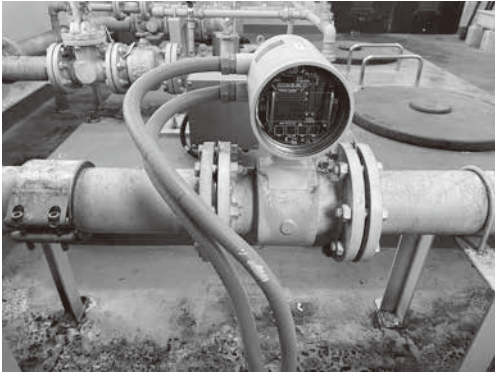
橋ポンプ場配水流量計交換工事

配水流量計の故障に伴う塩素薬剤注入不具合の改修。

□流量計の不具合検知に遅れはなかったか。また、今後の迅速な対応に向けた策は？

▲異常発生と同時にエラー信号が通知されるため、迅速な対応を行いました。

来年度で予定されている施設のクラウド化が完了する予定です。これにより、担当者が現場到着前に状況を把握できるようになり、素早い復旧手配が可能になります。



配水流量計

農業集落排水事業

○農業集落排水処理施設の機能強化事業工事

4172万円

川北中部地区（下先出、杏ツ屋、与九郎島）の機能強化事業設計（単価入替）・工事費（防食等）

国の補正予算を活用した老朽化対策・機能向上工事を実施。



川北中部污水处理施設

条例の制定と改正

○仮算定廃止に伴い納期が変わります

・国民健康保険税条例と後期高齢者医療に関する条例の一部改正

普通徴収（口座振替や納付書による支払）における仮算定の廃止と、納期の回数を変更するもの。

★改正による変更点

7月に「決定通知書」が届き、支払いが始まります。

○保育料無償化を拡大

・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料等に関する条例の一部改正

0歳から2歳児の保育料の無償化を、第2子以降に拡充するもの。

○4月から「子ども誰でも通園制度※」が開始されることに伴う、新たな条例の制定

・乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例及び、特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定。

※保護者の就労の有無や理由を問わず、0歳から2歳までの未就園児が保育施設を利用できる制度

NEXT

予算決算特別委員会 予算審査会

デジタル化の推進

- 自治体システムの標準化（1億1,690万円）

Q 自治体システム標準化により住民にとってどのようなメリットがあるのか？

A 主なメリットとして、税収納でのQRコードやコンビニ納付が可能になり、自治体独自の改修コストが削減され、将来的にはより充実したサービスを迅速に提供できるようになります。

- 行政手続きのオンライン化（192万円）
- 水道施設のクラウド型監視システム（600万円）

賑わい創出

- イベント開催事業費（900万円）
声優トークイベントやサンフィールドを活用したイベントの開催
- 川北まつり助成金（4,350万円）



川北まつり



イベント開催

産業の振興

- 農業
スマート農業推進（700万円）や生産基盤整備の予算を増額。
- 商工業
起業・設備投資への独自支援、商工会等への助成を増額。

教育環境の充実

- 施設整備
小中学生タブレット端末の更新（3,575万円）
- 特色ある教育
給食費の無償化継続（4,972万円）



タブレット端末

企業会計

- 簡易水道事業 水道基本料金の減免
物価高騰対策として、水道基本料金を令和8年3月分から、1年間無償化する。

Q 水道料金の無償化について、事業者や店舗も対象に含まれるのか？

A 町の水道に加入している方が対象です。事業者であっても、住宅と併用のメーターで加入していれば対象となります。

子育て支援と福祉の充実

- 0～2歳児の保育料無償化を「第2子以降」へ拡大
経済的負担軽減を図り、子育て世帯への更なる支援を行う。
- 川北保育所・児童館・橘保育所のLED化
(6,420万円)



安全・安心なまちづくり

- 指定避難所の機能強化
川北中学校・第二町民体育館の空調整備とバリアフリー化（約3億6,725万円）
- 能登半島地震を踏まえた地域防災計画の改定（418万円）



川北中学校 体育館



第二町民体育館

生活環境の向上と定住化支援

- 定住促進
新築住宅取得奨励金（1,000万円）
空き家支援（180万円）
奨学金返還支援を継続（240万円）
- インフラ
町道等整備工事（1億8,040万円）
中学校周辺歩道改良設計業務
巷ツ屋消雪配管工事
三反田道路改良工事、路肩拡幅工事（与九郎島～木呂場）



川北中学校交差点

問 高齢者の補聴器購入助成は

答 福祉課長 健康寿命延伸のため検討

町政を問う！

3月議会定例会
一般質問



中村勝巳 議員

Q 国の指針となる「高齢社会対策大綱」の24年改定において、「加齢による難聴等への対応」が、ガンや認知症と並ぶ健康・福祉分野の基本的施策に据えられました。

A 高市総理も「挑戦しない国に未来はない、守るだけでは希望は生まれまい」という言葉の通り、「挑戦する町として」他18市町に先駆けて、高齢者への補聴器購入助成は。

況は、軽度・中等度の聴覚障害

がある18歳までの難聴児と、身体障害者手帳の交付者に、障害者自立支援給付費として負担しています。

高齢の難聴者が補聴器を使用することで、会話が改善され、脳の活動量が活性化し、社会参加の意欲向上につながる事は事実であります。そこで、川北町では高齢者の補聴器購入助成事業への検討も含め、国が示している難聴への正しい知識の普及などにも取り組み、健康で自立した生活が送れる健康寿命の延伸につなげていきます。



補聴器

問 冬季間限定のスクールバス運行は

答 教育長 関係機関と協議

Q 冬季間限定のスクールバス運行について 町の地域性から子育て生活を営む上で、移動手段の負担軽減が「重要課題」であることは十分に理解できます。「挑戦しない町に未来は無い、現状維持は衰退」との観点から、「挑戦する町として」次年度の冬より「冬季間限定スクールバス」を運行してはどうか、町当局の考えは。

年度に向けて改めて検討を継続していきます。
また帰宅時間帯の運行についても併せ、学校や関係機関と慎重に協議・検討を進めていきます。

A 冬期間に限らず、登下校における最優先事項は「児童生徒の安全確保」であると認識しています。

今年度、登校時に既存のスクールバスを活用できないか、学校側とも具体的な協議を行いました。今回は、始業時間との調整がつかず、実施を見送ることとなりましたが、来



問 町内の外国人の現状と交流は

答 教育課長 町行事の参加を呼びかける



窪田 博 議員

Q 町内に外国人が国別でどれくらいの方がおられるか、現状については。また、町内の外国人と町民との交流について日本語教室開催趣旨、また具体的にどのような内容で、どのような方が参加しているのか。

A 令和8年2月末現在当町の住民基本台帳に登録されている方、総数は67人で、国籍別としては、ベトナムが40人で、インドネシアが19人、ネパールなど5カ国で8人です。
日本語教室「なでこ日本語ひろば」は、交流の機会や互いの文化・習慣、そしてマナーを理解しあい、信頼関係を醸

成し、住みよい多文化共生社会づくりに取り組むことを目的に立ち上げました。
外国人との気軽に触れ合う機会につきましては、継続して「なでこ日本語ひろば」の参加者に対し、さらに積極的に町行事への参加を呼びかけます。



なでこ日本語広場

成し、住みよい多文化共生社会づくりに取り組むことを目的に立ち上げました。
外国人との気軽に触れ合う機会につきましては、継続して「なでこ日本語ひろば」の参加者に対し、さらに積極的に町行事への参加を呼びかけます。

問 町営住宅の入居状況は

答 町長 入居者の増加に努める

Q サンハイム三反田は昨年4月にオープンしたものの、年度末になっても空き室が目立つのは何故か。

A 入居要件が厳しいのであれば、他自治体の公営住宅の家賃等の入居要件をも参考にし、要件の一部を見直す方法もあります。
応募する方が少なければ、入居状況を町広報誌に逐次掲載や募集案内のチラシを配布するなど、積極的な営業努力が必要では。

移住・定住支援策と併せて、入居者募集案内を掲載するなど積極的な取り組みを行います。

今後は、新聞折り込みチラシの配布を予定しているほか、テレビコマーシャルによる募集広告を計画しています。

可能な範囲で入居要件の見直しを図るなど、入居者の増加に努めます。

A 町営住宅全158戸のうち令和8年2月末現在で、約17・7%に当たる28戸が空室となっています。
町では、空室を解消するため、町内の商業施設などにポスターを掲示、1Rいしかわ鉄道の電車内の中吊り広告に



サンハイム三反田

問 地域計画の考え方は

答 産業経済課長 町基本構想をベースに協議



宮崎 稔 議員

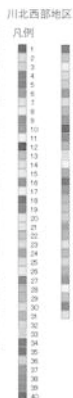
Q 地域計画は、10年後、この地域の農地としての将来像、すなわち設計図です。現在の地域計画を、将来の農地減少や土地利用転換も含めた、10年後の設計図として、どのように見直し、工業化と農地・農業のバランスをどう位置付けていく考えか。

A 次の世代へ、農地を着実に引き継ぎ、目指すべき将来の農地利用の姿を明確にするため、「地域計画」を策定しました。「地域計画」の『目標地図』は、概ね10年後を見据え、農地ごとに誰が耕作するかを色分けして示しています。

この地図は、あくまでも、農



地域計画目標地図



業の将来像を描くものであることから、将来的な土地開発等に関しては、町基本構想をベースとしながら、改めて地域の皆様と協議をし、変更や見直しを行うこととしています。

問 職員の不調およびハラスメントの未然防止は

答 町長 未然防止に努める

Q 先月、能美市役所で、上司との関係性などを背景に、職員が自ら命を絶つという、非常に痛ましい事案が報道されました。

A 私も、能美市のパワハラ自殺報道には大変驚き、決してあつてはならないことです。町では、平時においては、勤怠管理システムを利用して、業務負担の過多など、異変等を発見した際には、状況確認を行い、未然に防止する対策をしています。

また、副町長は、全職員を

対象に、面談を実施し、要望や不満、悩み等を聞き取り、問題を察知した際には、早急に対応できる体制を整えています。

相談窓口は、副町長と総務課長、総務課担当職員がなり、必要に応じて、第三者を含めた委員会を立ち上げることとしています。

今後とも細心の注意を払い、パワーハラスメントの防止に努めます。



問 中学校部活動の地域移行に伴う財政支援は

答 教育長 速やかに検討



山田勝裕 議員

A 国から示される更に詳細な基準に基づき、認定地域クラブの運営に要する経費を改めて精査・算定いたします。

Q 中学校部活動の地域移行については、川北町でも着実に移行している状況である。
教育委員会が管轄するジュニアクラブを継承する活動として、中学校部活動の受け皿としての中学生の活動を保障するものであり、様々に発生する費用についても中学校部活動への支援と同様に対応するべきだと思います。

その上で、これまでの中学校部活動への支援の考えをベースとして、新たな地域展開の形態に即し、実効性のある財政支援のあり方について、速やかに検討を進めたいと考えております。
活動支援体制を堅持し、さらに発展させるためにも、国の財政支援を最大限に活用しつつ、保護者負担の軽減や持続可能な活動環境の整備に努めます。



問 町職員の県外視察等の研修状況は

答 町長 研修の機会を検討

Q 町職員の県外自治体への視察研修の状況はどのよう
に実施されているのか。全国には様々なアイデアを持った施策が行われていることが分かります。県外の全国の自治体の施策のアイデアやその状況を学ぶことは、町職員として非常に刺激になるのでは。

A 県外視察研修に参加することとは、広い視野で、先進的な取り組みを学ぶ絶好の機会であり、研修を通して、意見交換を図ることで、職員自身の大きな刺激となり、業務に対する意欲向上、職員の資質向上につながるものと考えています。

職員研修に対する予算は計上してありますので、今後とも、職員に対しては、様々な機会を通じて、県外視察研修に積極的に

に参加するよう働きかけます。



県外視察研修

現場の声を政策に 商工会と地域産業活性化を議論

2026年1月19日、町商工会と議会総務産業常任委員会による意見交換会が開催されました。物価高騰や人手不足など、地域産業を取り巻く厳しい現状と、今後の支援のあり方について幅広く意見が交わされました。

物価高騰および価格転嫁の現状

● **コスト増の深刻化と経営への影響**
物価高騰の影響は深刻で、特に運送業では燃料費の増加が年間1000万円規模に及ぶ事例も報告されました。資材費や人件費の上昇も重なり、経営を大きく圧迫しています。

● **価格転嫁の実態と課題**
価格転嫁は容易ではなく、交渉に半年から1年を要するうえ、十分に反映できないケースが多いとの声が上がりました。

人手不足と人材確保・育成

● **採用難への対策とコスト負担**
人手不足も深刻で、求人を出しても応募がない状況が続いています。

● **外国人労働者の活用と定着支援**
外国人材の活用が進む一方で、住居の確保や地域との共生といった新たな課題も浮き彫りとなりました。

行政への要望と今後の支援

● **資格取得支援の拡充と簡素化**

大型免許や溶接等の資格取得補助を求める声が非常に多くありました。国の助成金は要件が厳しく申請が煩雑なため、小規模事業者でも利用しやすい「町独自のシンプルかつ迅速な上乘せ支援」が期待されています。

観光や地域の賑わい創出

● **回遊性の向上（点から面への展開）**
温泉施設等には一定の集客があるが、町内他施設への買い回りにには繋がっていません。集客拠点から周辺へ人の流れを広げる「回遊性」の向上が求められます。イベントに合わせた出店や、特産品の販売強化などの必要性があります。

● **拠点の再構築**
近隣の成功事例を参考に、川北町でも「立ち寄って休める」「地元のものを買う」といった場所の魅力を発信する必要があります。



川北ふれあいフェスタ(令和6年)



議会では、今回の意見を踏まえ、補助制度の見直しや支援策の充実に取り組むとともに、今後も定期的な意見交換を通じて、現場の声を迅速に施策へ反映していきたいと考えます。

総務産業常任委員長 宮崎 稔

視察

教育民生常任委員会

中島小学校、橘小学校体育館空調設備視察

3月12日

中島小学校では体育館出入り口のバリアフリー化改修工事もあわせて行われており、常任委員も使いやすいバリアフリーの通路を使って体育館に入る事ができました。体育館内の空調設備はステージに向かって左右の壁面に計8か所設置され、館内は温かい空気が流れていました。騒音も全く気にならず、また、子どもたち

の体育活動で起こりうるボール等の接触に対しても万全の備えが実施されていました。さらに、室外機の排気に伴う騒音に対しても近隣の家庭に配慮しての防音壁が施されており、館内、館外共に良好な状態が維持されているように感じました。中島小学校体育館の空調設備、バリアフリー改修工事費として約1億800万円

の予算が投じられています。

橘小学校体育館については、出入り口のバリアフリー改修工事はすでに前年度終了しており、体育館内の空調設備は中島小学校同様に8か所配置され、暖かい空気が体育館を包んでいました。丁度両小学校共に卒業式を3月18日に控えており、試運転もかねて当日は稼働する予定であるとのこと、校長先生も安心して寒さ対策ができると喜んでいました。

橘小学校体育館の空調設備工事費としては約9600万円の予算でした。

しかし、この体育館空調設備は基本的に災害時の避難所の機能を充実させることが第義であり、あの能登半島地震での教訓や近年の異常ともいえる夏の暑さ対策として避難所機能が充実したことは、町民にとつての安全安心につながるものと実感しました。

教育民生委員長 山田 勝裕



中島小学校体育館 バリアフリー化



橘小学校 空調設備

自治功労者表彰

石川県町村議会議長会表彰

西田 時雄 議長

井波 秀俊 副議長

山村 秀俊 議員

4月14日に開催された石川県町村議会議長会定期総会の席上において町議会議員として地方自治の振興発展に寄与された功績をたたえ、表彰状が贈られました。



川北町で頑張っている人

みのいけ かりん
御影池 華梨さん (中島)
nail salon coloré (ネイルサロン クロレ)



●自己紹介

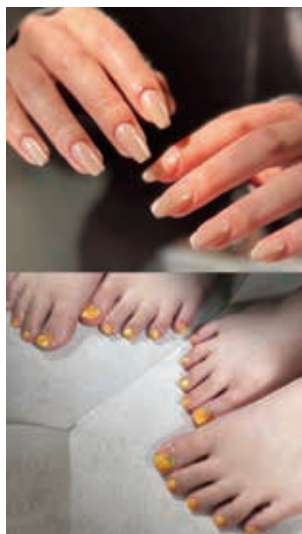
nail salon coloré (ネイルサロン クロレ) の御影池華梨です。

川北町 (中島) で独立して2年目になります。

当店は10代~60代まで幅広い層のお客様にご来店頂いておりますのでトレンドのデザインからシンプルなデザインまでご提案しております。

主流であるジェルの他にも、乾燥や年齢と共に固くなる角質除去 (マッサージ付き) なども施術可能です。

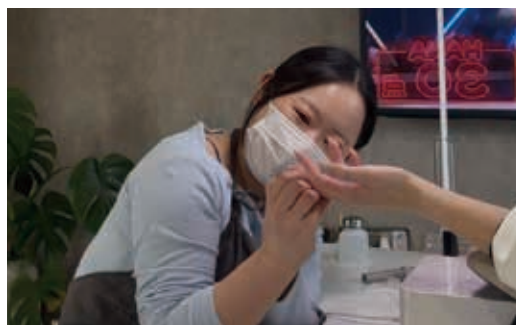
お仕事上ハンドネイルができない方もフットジェルで足元から気分を上げて頂けるのでオススメです!



●川北町へのひとこと

仕事上、汗をかく機会が少ないので川北温泉のサウナをよく利用しますが無料券は本当に助かっています。

町全体の運動会なども運動不足解消や町民の皆様との交流に繋がるので今後も是非続けて頂きたいです!



●議会へひとこと

日頃より町のために御尽力いただきありがとうございます。議員さんが近くで声掛けをしてくださるのでとても心強いです。

☆取材後記

真っ白な大型犬と可愛らしいわんこちゃんと一緒に中島の田園をバックに颯爽と歩く御影池さん。

急な取材でしたが元気な笑顔でお答えいただきました。皆さんは中島にネイルサロンがあるのを知ってました? ネイリストと子育ての両立の姿がイキイキと輝く彼女。男女問わずネイルを施すことで美意識はもちろん、ちょっとした日常が明るくなり前向きな気持ちになるみたいですよ。

これからも御影池さんの明るい人柄で 素敵なネイルと癒しを届けてくださいね。

取材者: 山先謙二郎

議会一般質問を
YouTubeで配信中



お問い合わせは、川北町議会事務局まで
直通(ダイヤルイン) ☎076(277)1109

編集後記

今年、急な衆議院選挙に始まり、県知事選挙と続きました。

その後、諸物価高騰の中、イラン攻撃が始まり、結果、ガソリン等を始めとして、更なる高騰の波が、大きく押し寄せる気配です。

この「議会だより」が発行されるころには、物価も落ち着いて、更に、下降修正されればと願うばかりです。

さて、話は変わりますが、この「議会だより」も、いろいろな変化を感じ取り、見直し改善をしてきました。

これからも、町民の福祉の向上に向け、分かり易い広報誌となるよう、今期最終年を務めていきます。

広報編集特別委員会

委員長 中村 勝巳
副委員長 山先謙二郎
委員 井波 秀俊
山村 秀俊
林 幸雄

議会を傍聴しましょう◆ 次回の定例会は6月です。お気軽にお越しください。